

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 すまはびパーク曳舟		
○保護者評価実施期間	2025年12月14日		2025年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多くのお子さまに楽しく通っていただけていること	・お出かけや季節に応じたイベントなど、通所中の取り組み内容を充実させています ・お子さま自身が「ここが自分の居場所として心地よい」と感じられるように、職員からのコミュニケーションを心がけています	・職員の知識や専門性を高めることで、よりよい支援に繋がるように取り組んでいきます
2	・運動能力だけでなく、身辺自立や情緒など多方面の改善に繋がる運動療育プログラムを提供していること	・理学療法士が作成したプログラムを毎日実施することで、専門性が担保された内容をお子さまが楽しみながら取り組めるようにしています	・アセスメント結果や保護者のご要望などをもとに、より内容を最適化して提供していきます
3	・基準の人数以上に職員を配置するようにしていること	・働きやすさ/働きがいの両方を実現できる環境を整え、職員の離職を防いでいます ・多様な知識やスキル、経験を持つ職員の新規募集を行っています	・体制を維持～改善できるように取り組みを継続します ・高い専門性を有する人材の募集を行います

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援の様子を保護者が直接見る機会に乏しいこと	・お子さまが療育に集中できる環境をつくるため、現状は母子分離での支援を基本としています	・連絡帳にて当日の様子を詳しく伝えるようにします ・面談や保護者会等、コミュニケーションの機会を増やすことを検討します
2	・地域交流の機会に乏しいこと	・保育園や幼稚園と併用しているお子さまが多く、当施設が主導して交流の機会を作ることはできておりません	・地域の協議会参加などを通してネットワークを構築し、交流の機会を検討します
3			